

Webサイトよりお申し込み下さい

セミナー案内ページで <ご希望の開催日時> を選択し、お申し込みフォームに必要事項を入力の上、[登録] してください。

URLから

<https://hospitality-toilet.jp/seminer23.html>

もしくは で検索

二次元コードから



※通信料がかかります。
ご利用環境によって閲覧できない場合があります。ご了承ください。

受付完了連絡・ZoomのURLは、開催日の1週間前までに登録されたメールアドレス宛にご連絡します。
お申し込み直後の自動受付メールは届きませんので、ご了承ください。

- お申し込みについて
- 主催者(癒しのトイレ研究会参加企業5社)の同業他社様からのお申し込みは固くお断り致します。
 - 環境上やむを得ずPC1台を複数名で視聴される場合を除き、基本的にお一人ずつのお申し込みをお願いします。
 - 定員に達した場合は締め切らせていただきます。あらかじめご了承ください。
- お客様情報の取扱いについて
- 申込時にご記入いただいた情報は、癒しのトイレ研究会および参加企業内で共有させていただきます。セミナーに関するご連絡や研究会からのご案内等をさせていただきます。あらかじめご了承ください。
 - お客様の個人情報は、癒しのトイレ研究会で厳重に管理いたします。個人情報のお取扱いに関する詳細は、ホームページ掲載のプライバシーポリシーをご覧ください。→<https://hospitality-toilet.jp/privacy.html>
- CPD登録について
- CPD申請は、開会から閉会までの全てのプログラムのご視聴と終了後のアンケート記入が必要です。
 - 複数人でのお申し込みの場合はCPD単位登録ができません。必ず参加者毎にお申し込みください。
- ご参加の皆さまへのお願い
- 参加用URLの他者との共有・公開はご遠慮ください。
 - セミナーの録画・録音等は禁止とさせていただきます。
 - 当日開催前までにZoomアプリのダウンロード・インストールをお願い致します。初めて利用される方は、右記URLよりダウンロードください。→<https://Zoom.us/download>
 - 講演資料データは、終了後のアンケートでご希望された方に後日お送りします。

… 癒しのトイレ研究会とは …



より良い病院・福祉施設のトイレ環境づくりを目指して、トイレ関連企業が結束して2000年に発足しました。発足以来、調査・研究を重ねて毎年研究誌を発行し、学会発表や各種セミナーなどを継続しています。

Webサイトはこちら →



AICA

アイカ工業株式会社

CXS

シーバイエス株式会社

DAIKIN

ダイキン工業株式会社

TAJIMA

田島ルーフィング株式会社

TOTO

TOTO株式会社

癒しのトイレ研究会



2023 オンラインセミナー

11月 7日 tue ・ 9日 thu

AM 10:00 - 11:30

PM 14:00 - 15:30 ※各回内容は同じです

オンライン開催 (Zoomウェビナー)

参加費
無料

事前
申込制

定員200名/回
先着順

CPD認定申請中
開会から閉会までのすべての
プログラムの聴講が必須です

病院トイレの

スタンダード

今後どうなる？

今後の病院水まわりのスタンダードはどうか。病院や福祉施設における‘癒しのトイレ’とは。

特別講演では、高野先生と中山先生をお迎えし、‘医療’と‘建築’の専門的見地から、これまでとこれからの病院水まわりのあり方について解説いただきます。

研究会講演では、トイレに関わるさまざまな切り口から、今後の病院・福祉施設づくりに求められる対策についてご提案します。

特別講演① | 感染対策をふまえた病院の水まわりは施設のポリシー

慶應義塾大学病院 感染制御部 課長 高野 八百子 先生



特別講演② | トイレ配置の課題と設計

千葉大学 名誉教授 中山 茂樹 先生



研究会講演 | 病院・福祉の「癒しのトイレづくり」

癒しのトイレ研究会



◎事前のお申し込みが必要です。詳しくは裏面をご覧ください。

《対象者》

病院・福祉施設の施設ご担当者、設計者、建築関係者、ビルメンテナンス会社 ほか

癒しのトイレ研究会

<https://hospitality-toilet.jp>

皆さまご参加
お待ちしております!!



癒しのトイレ研究会
会長 高柳 和江

医療法人社団 慶会 理事
元日本医科大学 准教授
一般社団法人 癒しの環境研究会 理事長
笑医塾 塾長
外科医 (医学博士、社会医学系専門医・指導医)

医療の
視点から

第 I 部 特別講演①

感染対策をふまえた病院の水まわりは施設のポリシー

水まわりは生活をするうえで必要不可欠なものです。病院や福祉施設の水まわりは、利用者が活用できなければ意味がありませんが、ただ美しく快適であれば良いというわけではありません。患者・入所者、職員が利用するうえで、他の施設と異なる点は微生物の温床となり、感染拡大の原因になりかねないということを念頭におき、目的と動線を考えて設置し、設備を選択し、清潔を維持するための管理をしなければならない点が重要になります。

上下水道の配管の関係から、新築の場合は設計の早期段階で、改修工事の場合は構造と予算をふまえた妥協点を見出すために検討する必要があります。検討する場合の視点にさせていただけるよう、トイレ、手洗いシンク、洗浄用シンクなど 目的ごとに感染対策をふまえた利用者の視点でお話しさせていただきます。



慶應義塾大学病院の手洗いシンク

医療従事者が手指衛生をするために、2つの多床室の間に1つの手洗い器を廊下に設置した。



慶應義塾大学病院 感染制御部
課長 高野 八百子 先生
Yaoko Takano

1983年 慶應義塾大学医学部付属厚生女子学院卒業
慶應義塾大学病院勤務
1993年4月 慶應義塾大学病院勤務 小児科病棟
1997年4月 慶應義塾大学病院 感染対策室 専従
2017年4月 慶應義塾大学病院 感染制御部 課長
厚生科学審議会感染症部会薬剤耐性菌(AMR)に関する小委員会委員 (2016年～)
日本私立医科大学協会 私立医科大学病院感染対策協議会 運営委員
日本環境感染学会 理事
JHAIS委員会委員 NICU感染対策検討委員会委員 など

建築の
視点から

特別講演②

トイレ配置の課題と設計

「這ってでもトイレに行きたい。」「尊厳をくじかれるベッド上での排泄なんて絶対に嫌だ。」は、患者のささやかな、しかし切実な希望である。今の病院のトイレは、この患者の願いをかなえているだろうか。

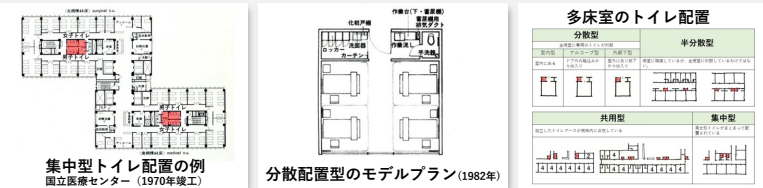
東海道中膝栗毛では、全くの知らぬ者どうしが一つ部屋に宿泊したようだが、今では学生宿でもそんなことはしない。でも日本の病院では全個室病室は珍しく、普通は4人くらい集まって入院する。トイレが部屋に附設されていればその4人で、そうでなければ共用のトイレまで歩いて行って用を足すことになっている。しかし、新型コロナは病室外を出歩いて院内感染が広まった。あるいは高齢患者の排泄にまつわる転倒事故、男女兼用の問題など、多くの課題がある。

講演では、こうした問題に対する建築的・歴史的アプローチを中心に、手洗い・洗面の配置にも触れ、トイレ配置のスタンダードを検討し、さらに水回り環境の要求水準を考えてみたい。



千葉大学
名誉教授 中山 茂樹 先生
Shigeki Nakayama

1980年 千葉大学大学院工学研究科修了
1980年 千葉大学助手工学部
1990年 工学博士(東北大学)
1994年 千葉大学助教授工学部
2000-01年 ルーバン大学(ベルギー)訪問研究員(文部省在外研究員)
2006年 千葉大学教授大学院工学研究科
2020年 千葉大学定年退職・同大学名誉教授
日本建築学会(医療施設小委員会元主席)、日本医療福祉建築協会(前会長)、日本医療病院管理学会(評議員、研究委員会委員)、日本医療福祉設備協会(副会長、理事)、日本医療経営コンサルタント協会(元理事、国際委員会委員、認定審査会副会長)、日本精神科救急学会(評議員)、ほか



プログラム |

*内容やプログラム順序は一部変更となる可能性もございます。あらかじめご了承ください。

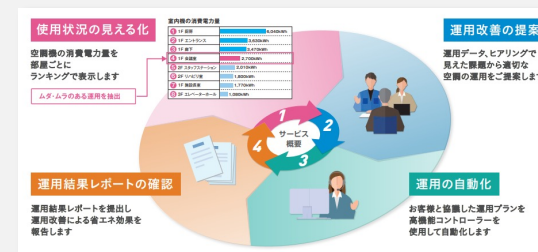
- 第 I 部 【特別講演①】 感染対策をふまえた病院の水まわりは施設のポリシー 慶應義塾大学病院 高野 八百子 先生
- 【特別講演②】 トイレ配置の課題と設計 千葉大学 名誉教授 中山 茂樹 先生
- 第 II 部 【研究会講演】 病院・福祉の「癒しのトイレづくり」 癒しのトイレ研究会
- 閉会后 病院・福祉施設向け 最新技術・商品紹介

第 II 部 研究会講演 | 病院・福祉の「癒しのトイレづくり」

5つのテーマで
提案します

(ダイキン工業) 医療福祉施設における「省エネ」「省管理」手法の最新動向

昨今のエネルギーコストの上昇に伴い、医療福祉施設においても使用エネルギーの削減は施設管理者の喫緊の課題となっています。一方で、省エネの必要性については認識しているものの、専任の管理者がおらず「何から手をつけたら良いかわからない」といったお声もよく聞かれます。今回は施設管理者様向けに「手間いらず」で「確実に」できる省エネ対策について、実際の事例を交えてご紹介いたします。



(シーバイエス) トイレの臭気対策 床面管理の改善事例より

病院や福祉施設のトイレにおいて臭気対策は課題となっていました。有効な対策は臭気の発生源を除去することですが、発生源の場所は便器に限らずその周囲に及ぶ場合があります。本セミナーでは病院におけるトイレ床面管理の変更から、臭気改善に繋がった事例をご紹介します。

(アイカ工業) 清潔感と快適性を実現する トイレ壁面改修

長年使用してきたトイレはニオイが気になり、冷たく・薄暗いイメージ。施設の利用者・職員にとって魅力的な空間を実現するため、短工期で周囲への環境負荷が少ない壁面改修方法と、気になるニオイ対策に、消臭性能のある壁面材をご紹介します。

(田島ルーフィング) 色で「迷わない」 デザイン事例の紹介

病院にて利用者様は、今自分がいる場所や行きたい診察室の場所だけでなく、どこが段差になっているのか前後感にも迷い、不安を感じています。デザインをもってこの不安を解消する ウェイファインディングデザインの事例をご紹介します。

(TOTO) 患者とスタッフが安心して利用できる病棟トイレ改修

築26年が経過したトイレは老朽化が進み、患者の利用のしにくさや清掃のしにくさなどの課題を抱えていた。点滴台や車いすでも利用しやすい集中型トイレと、身体状況に応じてスタッフが見守りやすい病室内のトイレを実現した、病棟トイレの改修事例をご紹介します。

閉会后 病院・福祉施設向け 最新技術・商品紹介

参加企業各社より最新情報をダイジェストでご紹介します。(約10分) ぜひご覧ください。